

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	太良町立多良小学校口
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校児童の“のびしろ”から考えると、まだまだ工夫改善の余地があると捉えている。</li> <li>・教育活動を、児童の学びの視点から再確認していくことに取り組んでいる。教師の指示・説明の時間は、できるだけ短くして、児童の活動時間を保障するということにつながる。ただし、活動時間を保障するためには、わかりやすい学習の進め方や、児童自らが主体的に活動する前提が不可欠になる。そのための“めあて-ふりかえり”である。</li> <li>・児童個々の特性や個性、個人差に、細やかに対応する体制が必要である。特別支援教育と、そのまま重なることである。全職員の共通理解と協働を再確認して、さらに前進させていく。本校児童の“のびしろ”から考えると、まだまだ工夫改善の余地があると捉えている。</li> </ul>
2 学校教育目標	子どもも、目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”～生涯学びの基礎づくり～
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の活動時間を確保した上で、自分の“成長”“伸び”“変容”を意識する教育活動を行っていく。</li> <li>・言語力向上に向けた取組を、国語科を中心にして、全教科・全領域、学校行事等で行う。（子ども達の話す、聞く、書く、話す場面を増やす。）</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		学校関係者評価		主な担当者
(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○校内研を通して、授業改善がなされたという教職員80%以上	・わかりやすい学習の進め方の提示 ・児童の活動時間確保 ・個別支援・個別指導の充実 ・ふりかえりの充実							井上、各担任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・人権講演会(人権集会)や道徳に関するアンケートの実施 ・本校道徳科共有資料の活用 ・保護者や地域の方と連携した体験活動(栽培、福祉、調査等)の実施							小野原、西山、樋口
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・いじめの認知・発見に対する対応マニュアルの作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間3回以上行う。							教頭、教育相談担当、各担任
●健康・体づくり	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%	・“本気の引き出し”と“成長べた褒め”の実施 ・「夢・目標即答ゲーム」の実施 ・『とことんカード』の活用							校長、各担任
	●「望ましい生活習慣、食習慣の形成」 ○早寝早起きを意識して取り組んでいる児童80% ○歩いて登校を意識している児童80% ○給食時間、好き嫌いをなく食べようとする児童80%	○早寝早起きを意識して取り組んでいる児童80% ○歩いて登校を意識している児童80% ○給食時間、好き嫌いをなく食べようとする児童80%	・生活ふりかえりカードの活用 ・集団登校の実施 ・食べる量の調整と備らない食べ方の習慣化(給食時間)							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○体育科の授業改善	○体育の授業が楽しいと答える児童80% ○体育の授業を、自分たちで進めているという児童80%	・体育指導ハンドブック活用事業 ・教材・教具、場づくり等の共有・協働							全担任
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定							教頭、校長
●業務改善のためのICT利活用	○学校で行うアンケートや調査について、ICTを活用し、集計等の時間短縮と結果活用を促進する。	○学校で行うアンケートや調査について、ICTを活用し、集計等の時間短縮と結果活用を促進する。	・学校評価のデジタル化 ・いじめアンケートのデジタル化 ・学習のふりかえりのデジタル化							教頭、校長、情報化推進担当
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○児童の実態にあった個別支援・個別指導の在り方について継続した研修を行う。(OJT)	○特別支援に関する専門性(個別支援・個別指導の専門性)が向上した教員80%以上	・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有							
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育										
5 総合評価・次年度への展望										